

# 盛岡市遺跡の学び館

## 平成24年度 館 報



細谷地遺跡 第31・32次調査区全景

# 盛岡市遺跡の学び館

## はじめに

平成23年3月11日の東日本大震災から早3年が経過しました。そして現在、被災地では一刻も早くあの美しい三陸の海や集落の営みを取り戻そうと日々の復興事業が進められています。

当市も被災後早くから職員の派遣を行い、文化財部門でも、平成24年度から沿岸2市に高台移転に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査のための担当職員派遣や、また当館での資料整理や展示発表などの活動も実施してきました。

昨今では、沿岸と内陸部の防災関連交通網の早期整備を含め、内陸部での民間開発増大の機運も高まり、それに伴う埋蔵文化財調査の件数・面積も徐々に増加する傾向が現れてきています。

平成24年度には平成5年から継続実施されてきた盛岡南都市開発整備事業（盛南開発）の最終年度として、細谷地・矢盛・夕覚の3遺跡の調査が実施されました。また同年は、当市における歴史上の大きな出来事であった康平五年（1062）の「前九年合戦」の終結から950年目に当たり、平泉の奥州藤原氏と深い関わりを持つ安倍氏の居館とされる「厨川柵」について、当市教育委員会によって継続的に実施されてきた発掘調査成果の見直しや再検討を含め、企画展「検証！厨川柵」を開催しました。

展示では盛岡周辺の11～12世紀の安倍氏・藤原氏時代の遺跡の様相について、近年の調査や研究成果を踏まえながら紹介し、また併せて厨川を中心とした地域に古くから数多く残る、安倍貞任そして義家伝説についても解説し、好評を博しました。

関連事業として史跡めぐりや体験学習など、多様な事業も実施してきましたが、市民の皆様のニーズに十分お応えできたか顧みながら、今後もより一層の内容の充実に職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月

盛岡市遺跡の学び館  
館長 袖上 寛

## 例言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成24年度館報である
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 III-4の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成24年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。

発掘調査報告の記載についての例言は以下のとおりである。

- (1) 本文・図中での高さは標高値をそのまま使用している。
- (2) 遺構記号は堅穴住居跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、堅穴：RE、焼土遺構RF、溝跡：RG、配石・集石遺構：RH、古墳など：RXとした
- (5) 本書に使用した地図は、「盛岡広域都市計画図1:10,000」、「盛岡市遺跡地図2008年版」ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1:15,000～1:20,000である。
- (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

## 目次

はじめに  
例言  
目次

### I 施設概要

- 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業…3
- 2 事業経過……………3
- 3 建設事業費等……………3
- 4 施設概要……………3

### II 職員体制……………4

### III 事業概要

- 1 管理運営……………5
  - 2 学芸事業……………6
  - 3 東日本大震災関連支援事業……………12
  - 4 埋蔵文化財発掘調査……………13
- 報告書抄

# I 施設の概要

## 1 (仮称) 盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築管繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

## 2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成23年3月末	開館以来の施設総利用者数97,841人

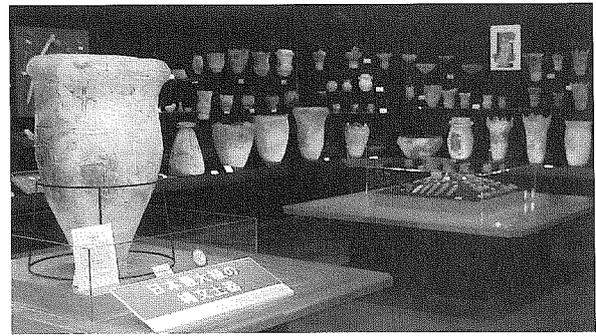
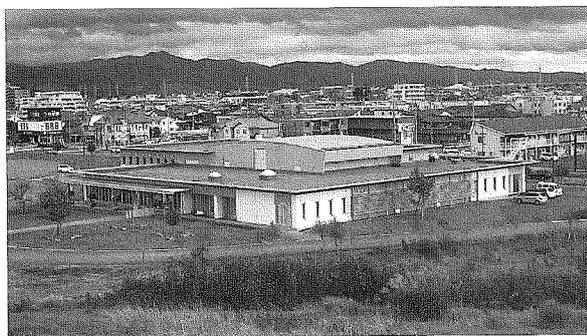
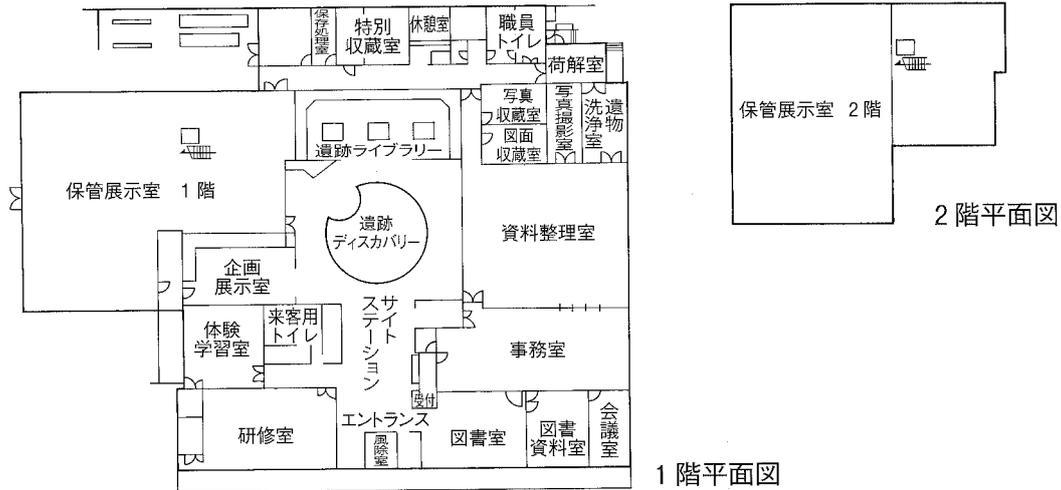
## 3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

## 4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日	
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日	
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋(一部重層)				
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積	2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室				
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等				
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)、写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)				
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)				
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)				



第1図 館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】(平成24年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H24年度発掘調査分	・辻屋敷遺跡・細谷地遺跡・町田遺跡・上畑遺跡	小コンテナ20箱
	今調査まで資料	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,400点
	破片等コンテナ収納資料	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、自然遺物含む) ※コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大300箱 小15,761箱
	寄贈寄託	・奥健夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約3,800枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm、6×7、4×5) ・カラーズライド(35mm、6×7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約130,000コマ 約44,000コマ 約380枚

II 職員体制

館長(兼) 田山 浩 充

館長補佐(兼) 千 田 和 文

[管理・学芸班]

(主査1 主任1 非常勤3)

主査(兼) 吉 田 尚  
主任(兼) 江 本 敦 史  
文化財調査員(非常勤) 川 下 里 美  
学芸調査員(非常勤) 山 岸 佳 澄  
学芸調査員(非常勤) 山 野 友 海

[調査班]

(主査3 主任2 非常勤2)

文化財主査(兼) 室 野 秀 文  
文化財主査(兼) 津 嶋 知 弘  
文化財主査(兼) 神 原 雄 一 郎  
文化財主任(兼) 花 井 正 香  
文化財主任(兼) 佐々木 亮 二  
文化財調査員(非常勤) 佐々木 紀 子  
文化財調査員(非常勤) 三 品 花 葉 子

### Ⅲ 事業概要

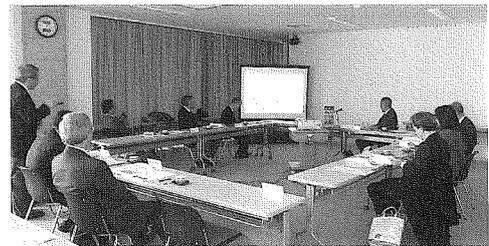
#### 1 管理運営

##### ・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営に関しても併せて指導していただいている。

- 第1回【期 日】平成24年5月17日(木)【時 間】13:30~15:00【会 場】当館 研修室  
**【出席者】**委員長 嶋千秋(盛岡市文化財保護審議会委員)、委員 菅野文夫(岩手大学教育学部教授)、金野万里(文化地層研究会事務局)、熊谷哲也(市小学校長会岩大附属小学校副校長)、瀬川君雄((株)東広社取締役相談役)、藤村幸雄(街づくり集団ゆいネット盛南事務局長)、教育委員会 佐藤義見 教育部長、田山浩充歴史文化課長兼遺跡の学び館長、歴史文化課及び当館職員  
**【議 事】**報告・平成24年度遺跡の学び館事業計画、審議 厨川地区の遺跡調査について

- 第1回【期 日】平成25年2月19日(火)【時 間】13:30~15:00【会 場】当館 研修室  
**【出席者】**委員長 嶋千秋、委員 菅野文夫、金野万里、熊谷哲也、瀬川君雄、藤村幸雄、熊谷常正、事務局 佐藤義見、田山浩充、歴史文化課及び当館職員  
**【議 事】**報告



- ・平成24年度遺跡の学び館事業計画
- ・平成24年度志波城跡の調査と整備について

##### 【年間事業費】(平成24年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	14,855,984円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,814,933円 (うち国補助1,288千円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、収蔵資料データシステム管理等
盛岡遺跡群発掘調査事業	5,053,208円 (うち国補助2,487千円、県補助761千円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	1,544,332円	・公共事業(学校体育館建設等)に伴う事前発掘調査
盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	25,795,702円 (まちづくり交付金10,156,000円、起債13,600,000円、市費2,039,702円)	・盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業 ・細谷地・矢盛・夕覚跡3遺跡4地点 ・盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク
埋蔵文化財確認調査事業	786,109円	・個人住宅建築及び宅地造成等、民間開発に係る試掘確認調査
計	51,850,268円	

##### 【入館者統計】(開館以降の入館者等利用状況：平成16年6月~平成25年3月)

	有料入館者						減免利用者			展示室利用者数	展示室以外の利用者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,157	4,301	375	525	900	5,201	1,336	516	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,593	3,605	228	268	496	4,101	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	268	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
計	19,504	14,750	34,254	4,258	7,132	11,390	45,644	17,910	6,668	24,578	70,222	40,682	110,904

## 2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業として企画展示室においてテーマ展・企画展、24年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全8回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

### (1) 展示公開・普及活動

#### 【展示会】

タイトル等	テーマ展 「安倍氏前夜—盛岡から発見された平安時代の遺跡—」	会場	当館企画展示室
		来場者数	3,952名
開催期間	平成24年5月26日(土)～平成24年10月8日(月)	展示資料数	133点
展示構成	□志波城造営以後の盛岡 □9世紀の集落跡 □10世紀の集落跡		
概要	康平五年(1062)の「前九年合戦」の終結から950年目の企画第一弾として、9世紀の平安時代初頭の志波城造営から10世紀中葉までの律令制に組み込まれる盛岡の様子と、地方豪族が台頭し律令的支配から離れはじめる前までの過程を紹介した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	前九年合戦終結950年記念事業 第11回企画展「検証! 厨川柵—古代末期のもりおか—」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,175名
開催期間	平成24年10月16日(火)～平成25年1月20日(日)	展示資料数	120点
展示構成	I 前九年・後三年合戦 II 厨川柵・姫戸柵研究史 III 安倍氏時代の遺跡 IV 安倍氏の柵と遺跡の課題 V 絵図に描かれた厨川 VI 前九年合戦ゆかりの地とその伝承		
概要	平成24年は、本市における歴史上の大きな出来事であった康平五年(1062)の「前九年合戦」の終結から950年目に当たる。平泉の奥州藤原氏と深い関わりを持つ安倍氏は、盛岡の岩手郡厨川の地に拠点である「厨川柵」を置いたとされるが、その実体は未だ明らかとなっていない。今回は、江戸時代以降、先学者らによって論じられてきた「厨川柵」研究の実態、そして昭和50年代からの盛岡市教育委員会によって継続的に実施されてきた厨川地区の発掘調査成果の見直しを含め、再度顧みることを目的に企画。展示では盛岡周辺の11～12世紀の安倍氏・藤原氏時代の遺跡の様相について、近年の調査や研究成果を踏まえながら紹介し、また併せて厨川を中心とした地域に古くから数多く残る安倍貞任そして義家伝説についても紹介した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第30回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する—平成24年度調査速報—」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,749名
開催期間	平成25年2月8日(金)～平成25年5月19日(日)	展示資料数	100点
展示遺跡	細谷地遺跡、矢盛遺跡、辻屋敷遺跡、史跡志波城跡、(特別出品:大船渡市宮野貝塚)		
概要	平成24年度に市内で発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。併せて本市からの派遣職員が担当した宮野貝塚の調査資料の一部を展示。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		

#### 【講演会】(前九年合戦終結950年記念事業関連)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成24年10月28日(日) 13:30～15:30	講演会「安倍氏と平泉」 平泉町役場 八重樫 忠郎氏	99名



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【学芸講座】（前九年合戦終結950年記念事業関連）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成24年6月17日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅰ「盛岡周辺の平安時代の遺跡」 当館 神原 雄一郎 文化財主査	44名
平成24年8月19日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅱ「盛岡周辺の12世紀の遺跡」 当館 佐々木 亮二 文化財主任	27名
平成24年11月18日(日) 13:30~15:00	学芸講座Ⅲ「安倍氏の柵」 当館 室野 秀文 文化財主査	107名

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成24年6月10日(日) 10:00~16:00	(前九年合戦終結950年記念事業関連) 「もりおか史跡・遺跡めぐり①—厨川・滝沢地区の古代末期の遺跡散策—」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	18名
平成24年6月24日(日) 13:00~16:00	「考古学者になってみよう！遺跡発掘体験」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	30名
平成24年7月8日(日) 13:30~16:00	「かわらけをたくさんつくってみよう！（親子）」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	17名
平成24年7月22日(日) 13:00~15:30	「かわらけを野焼きしよう！」（親子） 対応：当館職員・サポーターズクラブ	6名
平成24年9月9日(日) 13:00~15:00 平成24年9月23日(日) 10:00~12:00	「粘土でやきものづくり」（制作と釉薬掛けの2回） 講師 松田 昭夫 氏 補助：当館職員・サポーターズクラブ	4名
平成24年10月21日(日) 11:00~14:00	「かわらけを使って古代の食事体験」（親子） 対応：当館職員・サポーターズクラブ	18名
平成24年11月11日(日) 10:00~16:00	(前九年合戦終結950年記念事業関連) 「もりおか史跡・遺跡めぐり②—厨川地区の前九年合戦伝承地の散策—」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	19名
平成25年2月24日(日) 13:30~16:30	「カゴを作ってみよう！」（親子） 講師 中市 日女子 氏 補助：サポーターズクラブ	23名

【体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク 古代体験ひろば	平成24年4月28日(土)~ 5月6日(日)8日間	午前の部 10:00~11:30 午後の部 13:00~14:30 メニュー：勾玉作り・土 玉彩色・拓本とり・古代 風ストラップ(有料)、 藍染め体験・火おこし (無料)	勾玉作り66名、土玉彩色57名 拓本とり2名、古代風ストラ ップ81名、火おこし374名
夏休み！ 古代体験ひろば	平成24年7月28日(土)~ 8月12日(金)13日間		勾玉作り77名、土玉彩色68名 拓本とり5名、古代風ストラ ップ99名、藍染め体験5名、 火おこし408名
冬休み！ 古代体験ひろば	平成25年1月5日(土)~ 1月14日(日)9日間		勾玉作り67名、土玉彩色41名 古代風ストラップ64名、火お こし227名



古代体験ひろば



もりおか史跡・遺跡めぐり



かわらけを野焼きしよう！

### (3) ボランティア活動や地域連携活動

#### 【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

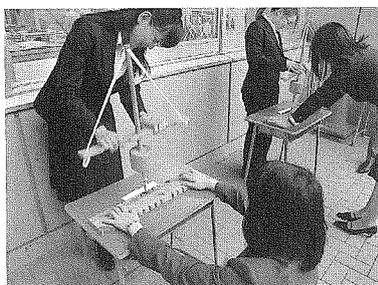
当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して7年目を迎えた。本年度の会員数は7名で、当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」（個人の体験学習）をはじめ、前九年合戦関連史跡めぐりバスツアー・かわらけ作り・野焼きなど、前九年合戦終結950年記念事業を主体に、大規模S CでのもりとびあねっとPRなどの支援事業も含め精力的に活動をしていただいた。

また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学・他地域のボランティアさんとの交流を兼ねた研修旅行（研修先：八戸市博物館・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 期日：平成24年11月23日（金））を企画し、9名が参加された。またサポーターズクラブの意見交換や事業記録として「サポーターズ通信」を編集中である。

#### 【盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク」（略称もりとぴあねっと）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設（岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園）で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人（人物）などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開した。

催事のタイトル	開催期間（日）	内 容	参加・聴講者数
ぐるり☆もりとぴあスタンプラリー	平成24年7月21日（土）～10月14日（日）	施設PRとして、スタンプラリー台紙を小学生児童に配布。7会場中、4カ所の押印で記念品贈呈。	7施設全体のスタンプ押印者数1,645名 記念品交換者数277名
発掘調査を紹介するパネル展と勾玉ネックレスづくり	平成24年9月29日（土） 13：30～16：30	イオンモール盛岡南を会場として、盛南開発に伴う発掘調査成果の紹介と勾玉ネックレスづくり（サポーターズクラブ支援）	パネル展約200名、 ネックレスづくり参加74名



初任者研修



博物館実習



サポーターズクラブ研修旅行

#### (4) 研修・実習活動

##### 【研修・実習受入】

開催日	内容	依頼団体（会場）	参加者
平成24年4月27日(金)	盛岡市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課 (遺跡の学び館)	12名
平成24年 11月13日(火)～11月15日(木)	インターンシップ実習	盛岡情報ビジネス専門学校 (遺跡の学び館)	1名
平成24年 8月21日(火)～8月25日(土)	博物館実習（5日間）	宮城学院女子大学1名、東北生活文化大学1名、岩手大学1名、盛岡大学1名、東京学芸大学2名	6名
平成24年12月27日(木)	平成24年度 盛岡市教育研究所第2回公開講座「遺跡・文化財講座：身近にある文化財を知るための講座」	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	8名

#### (5) 出前講座・講師派遣活動

##### 【出前講座】

開催日時	内容	講師	依頼団体（会場）	参加者
平成24年4月6日(金)	もりおか地域新社会人合同歓迎会講演 「城下町盛岡と周辺地域の歴史」	千田 和文 館長補佐	盛岡地域雇用開発協会 ・盛岡公共職業安定所 (ホテルメトロポリタン盛岡)	150名
平成24年8月25日(土)	「わくわくチャレンジふれあいの日」校舎外活動 トレジャーハンター	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市立手代森小学校	34名
平成24年10月23日(火)	「企画展見学と厨川柵関係遺跡の見学」	千田 和文 館長補佐	紫波郷土史同好会 (遺跡の学び館～厨川・滝沢地区の遺跡)	27名
平成24年11月8日(木)	高齢者教育講座不來方大学院講座 「文化財を活かしたまちづくり」	千田 和文 館長補佐	盛岡市中央公民館	150名
平成24年11月16日(木)	市内庭園めぐり研修 「一ノ倉邸と安倍館遺跡を巡る」	千田 和文 館長補佐	盛岡市コンベンション協会 盛岡ふるさとガイド研修部 (一ノ倉邸～安倍館遺跡)	13名
平成24年11月17日(土)	盛岡市自治公民館西部地区連絡協議会活動交流研修会 「盛岡の煉瓦建築」	千田 和文 館長補佐	盛岡市自治公民館西部地区連絡協議会（盛岡ふれあい覆馬場プラザ）	32名
平成25年1月9日(水)	【出前講座】 「もりおかの遺跡－川目地区周辺の遺跡－」	佐々木亮二 文化財主任	中野地区福祉協議会 (川目老人福祉センター)	50名
平成25年1月19日(土)	上田もの識り歴史講座 「岩手郡不來方と上田かいわい」	室野 秀文 文化財主査	盛岡市立上田公民館	30名
平成25年2月20日(水)	【出前講座】 「もりおかの遺跡－市内の主な遺跡について－」	花井 正香 文化財主任	和野さわやか学級 (盛岡市世代交流センター)	20名
平成25年3月23日(土)	【出前講座】 「厨川柵研究の実態と発掘調査の再検討について」	佐々木亮二 文化財主任	盛岡ひ・ストーリー (西部公民館)	20名

## (6) 職員研修活動

### 【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催（会場）
平成24年8月23日(木)	平成24年度第2回16ミリ映写機操作技術講習会	山岸 佳澄 学芸調査員	盛岡教育事務所管内教育振興協議会
平成24年12月7日(金)	平成24年度埋蔵文化財発掘調査技術講習会	千田 和文 館長補佐	岩手県立埋蔵文化財センター (岩手県立博物館)
平成25年2月5日(火) ～7日(木)	平成24年度第2回埋蔵文化財担当職員等講習会	佐々木亮二 文化財主任	文化庁・東京都教育庁 (東京都江戸東京博物館ほか)
平成25年2月6日(水) ～8日(金)	平成24年度文化財等取扱講習会「入門コース・応用コース」	(応用) 山岸 佳澄 学芸調査員 (入門) 木幡 里美 文化財調査員	公益財団法人岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館
平成25年2月21日(木) ～22日(金)	平成24年度学芸員ネットワークいわて研修会	調査・学芸・ 庶務担当職員 6名参加	学芸員ネットワークいわて (遺跡の学び館)
平成25年2月26日(火) ～27日(水)	平成24年度岩手県史跡整備市町村協議会文化財行政担当職員研修会	花井 正香 文化財主任	岩手県史跡整備市町村協議会 (釜石市内、視察：鉄の歴史館ほか)

### 【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成24年7月5日(木) ～6日(金)	平成24年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会・総会	千田 和文 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 (三重県伊勢市)
平成24年9月20日(木) ～21日(金)	平成24年度日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会総会・研修会及び岩手県博物館等連絡協議会総会・創立40周年記念研修会	千田 和文 館長補佐	日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会・岩手県博物館等連絡協議会 (サンセール盛岡・岩手県立博物館)
平成24年11月8日(木) ～9日(金)	平成24年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第25回研修会	佐々木亮二 文化財主任	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 (北上市内)
平成24年11月22日(火)	平成24年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第2回役員会	千田 和文 館長補佐	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 (東京都：都道府県会館)
平成24年11月29日(木) ～30日(金)	平成24年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会北海道・東北ブロック会議	千田 和文 館長補佐	多賀城市埋蔵文化財調査センター (多賀城市文化センター)

## (7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

### 【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名（所在地）	見学者・参加者
平成24年7月21日(土) 10：30～11：30	細谷地遺跡第31・32次発掘調査現地説明会（向中野字細谷地地内）	127名
平成24年12月18日(火)、 19日(水) 9：00～16：00	矢盛遺跡第31次発掘調査現地公開（飯岡新田地内）	56名
平成25年3月3日(日) 13：30～15：00	第30回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する－平成24年度調査速報－」. 関連事業「平成24年度調査成果報告会」	50名

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅳ －盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成13～18年度発掘調査①－ 台太郎遺跡」	平成24年9月30日	300部	公的機関に配布
「里館遺跡－供養塔および駐車場造成に伴う緊急発掘調査報告書－」	発行 宗教法人天昌寺 平成25年2月28日	200部	檀家及び公的機関に配布
「盛岡市内遺跡群－平成22・23年度発掘調査報告書－西黒石野遺跡第13次、小山遺跡第35次、二又遺跡第9・10次」	平成25年3月26日	300部	公的機関に配布
「繫Ⅴ遺跡－繫小学校校舎等増改築工事事業に伴う発掘調査報告書－」	平成25年3月29日	200部	
「盛岡市遺跡の学び館 平成23年度館報」	平成25年3月31日	350部	

【展示会関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 第11回企画展「検証！厨川柵－古代末期のもりおか－」	平成24年10月16日	200部	1,000円

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

(冊)

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			平成23年度末	平成24年度増加分	
発掘調査報告書			14,970	693	15,663
一般 図 書	考古学	概説書など	201	31	232
	歴史学	日本史・郷土史など	150	23	173
	民俗学	民具・民俗芸能など	10	0	10
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	30	0	30
	自然科学	動植物など	5	0	5
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	17	2	19
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その他	辞典・事典など	33	3	36
資料集	図録・解説書・パンフ・レジユメなど		1,522	117	1,639
全集	3冊以上		402	63	465
論集	論文集など		37	5	42
通史	市町村史		246	12	258
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など		3,662	255	3,917
計			21,288	1,204	22,492

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍および歴史関連書籍や論文集、一般刊行物、各種パンフレットなどの資料を主体に保管収集している。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

### 3 東日本大震災関連支援事業

#### 【現地派遣による支援活動】

- 東日本大震災に係る被災市町村への職員派遣については、平成23年3月11日以降、沿岸部の要望により継続的に実施してきたところであるが、平成24年度も岩手県市長会を通じ、派遣依頼の照会があり、当市は「東日本大震災に係る盛岡市復興推進の取組方針」に基づき、沿岸8市町村に20名の職員を派遣し（平成24年11月1日時点）、文化財担当としては市教育委員会生涯学習課から宮古市教育委員会へ1名（期間：平成24年4月1日～平成25年3月31日）、歴史文化課主管遺跡の学び館から大船渡市教育委員会へ1名（期間：平成24年10月1日～派遣継続中）派遣した。
- 当館からの派遣職員は、平成24年10月1日から、大船渡市内での防災集団移転等に係る発掘調査を担当し、綾里地区の「宮野貝塚」「清水遺跡」等の発掘調査や室内作業（図面整理・遺物整理）及び開発事前調整等の職務に従事した（平成25年度末まで継続派遣）。



宮野貝塚の発掘調査状況①



同左 ②



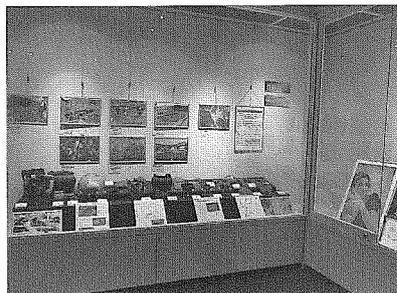
レスキュー作業状況写真

#### 【レスキュー報告及びミニ資料展の開催】

- 昨年度から継続して、展示室の一角を活用し、沿岸被災地における文化財レスキュー作業報告と当館収蔵の陸前高田市「門前貝塚」のミニ資料展を開催した（期間：平成24年1月29日～平成24年6月）。



陸前高田市門前貝塚ミニ資料展



大船渡市宮野貝塚の調査成果のコーナー



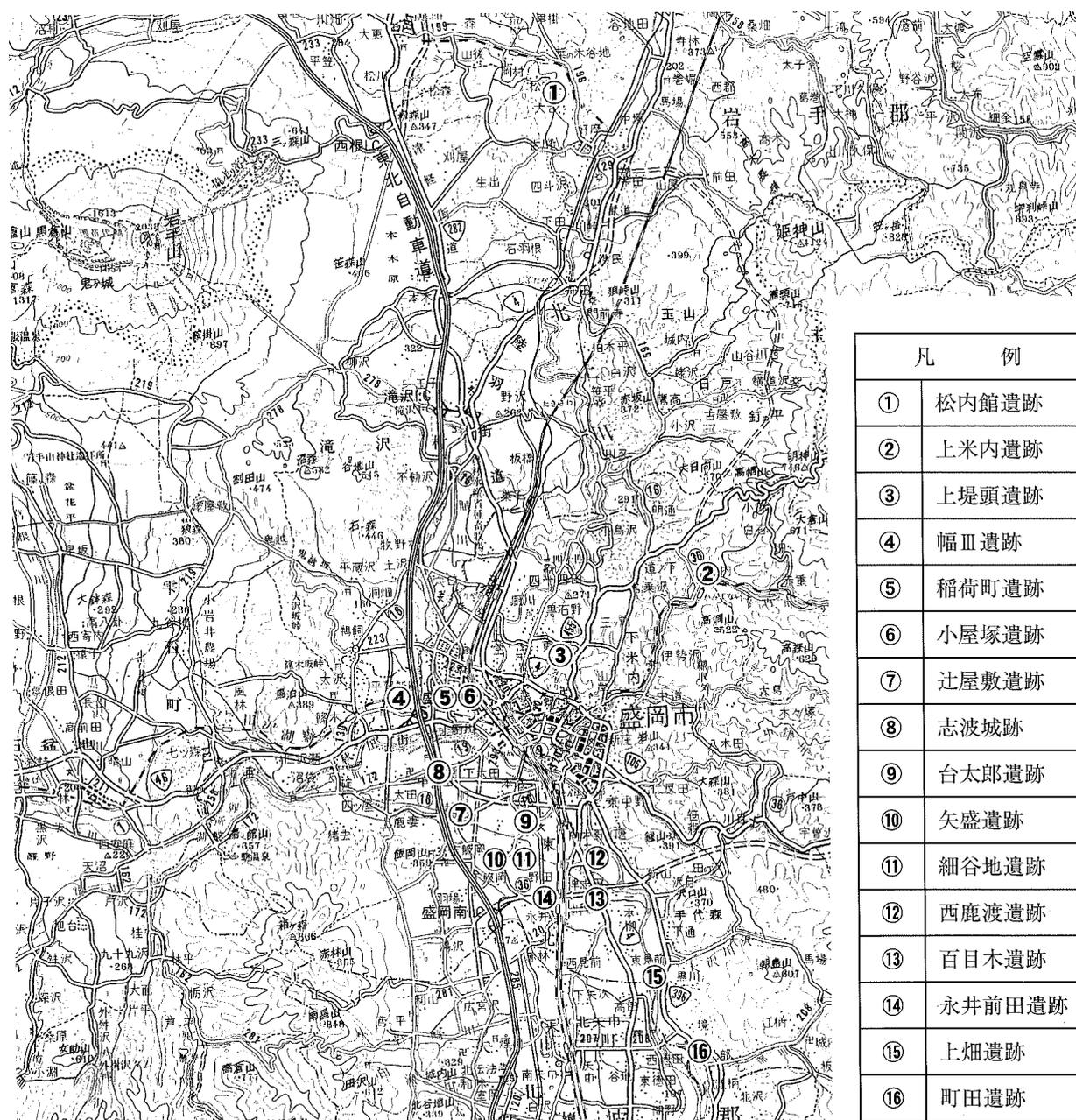
同左 出土遺物の展示

#### 【レスキュー報告及びミニ資料展の開催】

- 平成25年2月8日から5月19日まで開催した、第30回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する—平成24年度調査速報—」展では、特別展示として、沿岸派遣職員が従事した「大船渡市宮野貝塚の調査」コーナーを設置。大船渡市教育委員会の御好意により、出土遺物の一部を借用し、整理・復元の上、盛岡市民や内陸部の方々にも沿岸部高台移転に係る埋蔵文化財調査の実態や豊富な出土遺物を見て頂く機会とした。

#### 4 埋蔵文化財発掘調査

平成24年度に盛岡市遺跡の学び館が実施した試掘調査は17件、学術調査を含む本調査が5件の計22件である。内訳は大規模区画整理事業関連による調査(試掘含む)が4件、学校体育館建設に伴う公共事業の試掘調査が1件、民間開発関連では送電線鉄塔新設に伴う試掘調査1件、携帯電話基地局建設に伴う試掘調査1件、宅地造成が4件、共同住宅建築が3件、個人住宅建築等に伴う調査が7件及び国指定史跡の保存整備に係る内容確認調査1件で、調査総面積は15,615㎡となっている。面積的には盛岡南新都市開発整備事業関連の調査が最も多く、3遺跡4地点の13,346㎡で全体の85%を占める。また地域的には盛岡開発・民間事業を含めても太田・向中野・飯岡・仙北の北上川西岸地区が13地点で、他に上田地区1地点、中津川地区1地点、厨川地区5地点、乙部地区1地点、玉山地区1地点となっている。本報告では遺構・遺物が検出された発掘調査(本調査・試掘調査)を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。



第2図 平成24年度 調査遺跡位置図 (S=1 : 200,000)

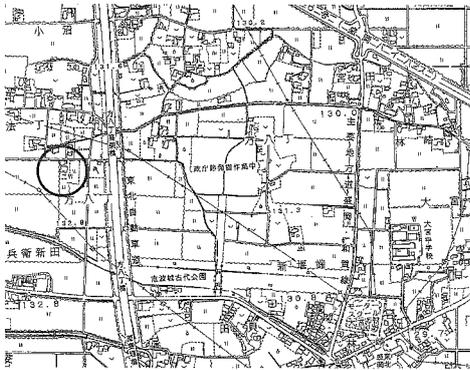
【平成24年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	NO.	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土遺物	
学術調査	1	国指定史跡 志波城跡	107	中太田法丁1-3、2、 3-1、3-2	史跡整備に係る 内容確認調査	2012/10/24 ～12/11	500	SF170外郭西辺築地線、SD170築地外大溝跡、SD070 外大溝跡及びSX070土塁跡、遺物：(遺構内) 平安 時代須恵器環、大甍破片、(表土等) 明治以降の瀬 戸美濃染付皿、ビール瓶(サクラビール) ほか	
	本 調 査	2	細谷地遺跡	31	向中野字細谷地40-5 ほか	土地区画整理	5/1～9/18	4,524	縄文時代の堅穴住居跡1棟、奈良時代の堅穴住居跡 5棟、平安時代の堅穴住居跡7棟、堅穴建物跡1棟、 古代の堅穴住居跡3等、堅穴建物跡1棟、土坑8基、 溝跡8条、時期不詳の土坑9基、溝跡2条、ピット 41口及び沢状の地形 遺物：縄文時代の土器破片、 石器剥片、弥生時代の土器、奈良・平安時代の土器 (土師器・須恵器・あかやき土器)、鉄製品(鉄族)、 石製品(砥石)、江戸時代の陶磁器、銅銭(常平通寶)
		3	細谷地遺跡	32	向中野字細谷地69-3 ほか		5/1～9/18	5,721	【本調査3,164㎡】 縄文時代の土坑1基、平安時代 の堅穴住居跡8棟、古代の堅穴住居跡3棟、土坑1 基、溝跡1条、時期不詳の溝跡2条、ピット1口及 び沢状地形 遺物：縄文時代の土器の剥片、平安時 代の土器(土師器・須恵器・あかやき土器)、鉄製 品(板状)、石製品(砥石)、江戸時代の陶磁器 【試掘調査2,587㎡】 古代の堅穴建物跡18棟、時期 不詳の土坑22基、溝跡11条、ピット15口 遺物：縄 文時代の土器、石器剥片、弥生土器、古代の土器(土 師器・須恵器・あかやき土器)
		4	矢盛遺跡	31	飯岡新田第4地割6-1 ほか		9/18～12/26	2,725	縄文時代の陥し穴状遺構2基、中世の掘立柱建物跡 19棟、柱列跡9基、土坑14基、堅穴建物跡2棟、堀 跡1条、溝跡10条、井戸跡1基、道路状遺構、ピッ ト369口 遺物：奈良・平安時代(土師器・あかや き土器)、中世の鉄製品(鉄釘・棒状)、近世・近代 の陶磁器
		5	夕覚遺跡 (試掘調査)	11	飯岡新田第5地割44 ほか		10/15	376	遺構・遺物なし
		6	辻屋敷遺跡	2	下鹿妻字長持104-8、 104-33		個人住宅建築	4/9～4/13	72
試 掘 調 査	7	上畑遺跡 (試掘調査)	10	西見前第11地割161-7	個人住宅建築	5/7	49	平安時代の堅穴住居跡1棟、焼土遺構1基、土坑1 基 遺物：平安時代の土器(土師器・須恵器) ※遺 構保存措置	
	8	永井前田遺跡 (試掘調査)	2	永井第10地割106、 107、108、109、110、 111、112、113	宅地造成ほか	5/14	76	遺構・遺物なし	
	9	上堤頭遺跡 (試掘調査)	2	上田堤2丁目56	宅地造成ほか	5/29	154	縄文時代の陥し穴状遺構5基、土坑3基	
	10	西鹿渡遺跡 (試掘調査)	27	三本柳第2地割31-1、 31-2、31-30	宅地造成ほか	6/15	127	遺構・遺物なし	
	11	百目木遺跡 (試掘調査)	34	三本柳第5地割35-11	個人住宅建築	8/1	29	遺構・遺物なし	
	12	稲荷町遺跡 (試掘調査)	28	稲荷町14-7、14-10	共同住宅建築	8/6～8/7	197	縄文時代の陥し穴状遺構2基、平安～鎌倉時代の溝 跡1条、池状遺構1基、土坑1基、柱穴13口 出土 遺物なし ※遺構保存措置	
	13	小屋塚遺跡 (試掘調査)	39	大新町167-11・14	個人住宅建築	8/9	13	遺構・遺物なし	
	14	稲荷町遺跡 (試掘調査)	29	大館町242-11	個人住宅建築	8/23	17	遺構・遺物なし	
	15	松内館遺跡 (試掘調査)	1	玉山区松内字築場26- 8ほか	送電線鉄塔建設	10/24～10/25	19	遺構・遺物なし	
	16	台太郎遺跡 (試掘調査)	75	向中野1丁目9-19	共同住宅建築	11/22	21	遺構・遺物なし	
	17	町田遺跡 (試掘調査)	19	乙部第30地割51-1	個人住宅建築	11/28	20	平安時代の堅穴住居跡3棟 遺物：平安時代の土 器(土師器・須恵器)	
	18	上畑遺跡 (試掘調査)	11	西見前第11地割208- 1、208-4	個人住宅建築	12/10	20	平安時代の堅穴住居跡2棟、時期不詳の土坑2基、 ピット3口 遺物：平安時代の土器(土師器・須 恵器・あかやき土器) ※遺構保存措置	
	19	上米内遺跡 (試掘調査)	6	上米内字中居43-4	携帯電話基地局 建築	12/12	49	縄文時代の焼土遺構4基 出土遺物なし	
	20	幅Ⅲ遺跡 (試掘調査)	1	土淵字幅26-1	学校体育館建設	2013/3/4	592	出土遺構なし 遺物：縄文時代の土器破片38点	
21	稲荷町遺跡 (試掘調査)	30	稲荷町16-8の一部	共同住宅建築	3/11	137	中世の柱穴6口、時期不詳の溝跡1条 出土遺物なし		
22	台太郎遺跡 (試掘調査)	76	向中野2丁目6-2	宅地造成	3/12	177	平安時代の堅穴住居跡10棟、溝跡1条 遺物：平安 時代の土器(土師器・須恵器)		
計							15,858		

## ○学術調査

### (1) 国指定史跡志波城跡第107次調査

- |        |                       |        |                    |
|--------|-----------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市中太田法丁1-3、2、3-1、3-2 | 2 調査事由 | 史跡整備に係る内容確認調査      |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査           | 4 調査期間 | 平成24年10月24日～12月11日 |
| 5 調査面積 | 743㎡                  | 6 調査員  | 津嶋知弘               |
- 7 確認された遺構 SF170外郭西辺築地線、SD170築地外溝跡、SD070外大溝跡、SX070土塁跡
- 8 出土遺物 遺構内：平安時代の須恵器坏・大甕破片、表土等：明治以降の瀬戸美濃染付皿、ビール瓶ほか
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、雫石川により形成された低位沖積段丘に立地。昭和51年度以降の緊急調査や学術調査により、古代城柵としての基本的構造が明らかとなり、その重要性から昭和59年に国史跡に指定された。第107次調査地点は、志波城外郭西辺北部にあたり、築地塀跡、築地外溝跡、櫓跡及び外大溝跡の位置の検出・残存状況の確認を行うことを目的として実施し、遺構保護のため、精査はトレンチにより最小限に止めた。精査の結果、築地塀は大きく削平され、築地塀本体の積土は検出されず、築地外溝跡、外大溝跡の規模等を確認した。櫓の柱掘方は検出されなかった。



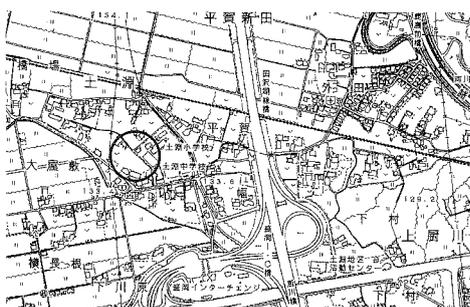
志波城跡第107次調査区位置図



第107次調査区

### (2) 幅Ⅲ遺跡第1次調査

- |        |             |        |              |
|--------|-------------|--------|--------------|
| 1 調査地  | 盛岡市土淵幅26-1  | 2 調査事由 | 学校体育館建設      |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成25年3月4日    |
| 5 調査面積 | 592㎡        | 6 調査員  | 花井正香         |
| 7 検出遺構 | なし          | 8 出土遺物 | 縄文時代の土器破片38点 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地西部の雫石川左岸に形成された東西方向の帯状の自然堤防上に位置する。現河床面から約1kmの距離にあり、遺跡の南辺も旧河道となっている。調査は段丘端部の近い畑地に試掘トレンチ5本を設定し、現地表面下0.3～0.7mの地山火山灰層で精査を行ったが、縄文時代後期の土器破片が出土したが、遺構は確認されていない。



幅Ⅲ遺跡第1次調査区位置図



試掘調査状況

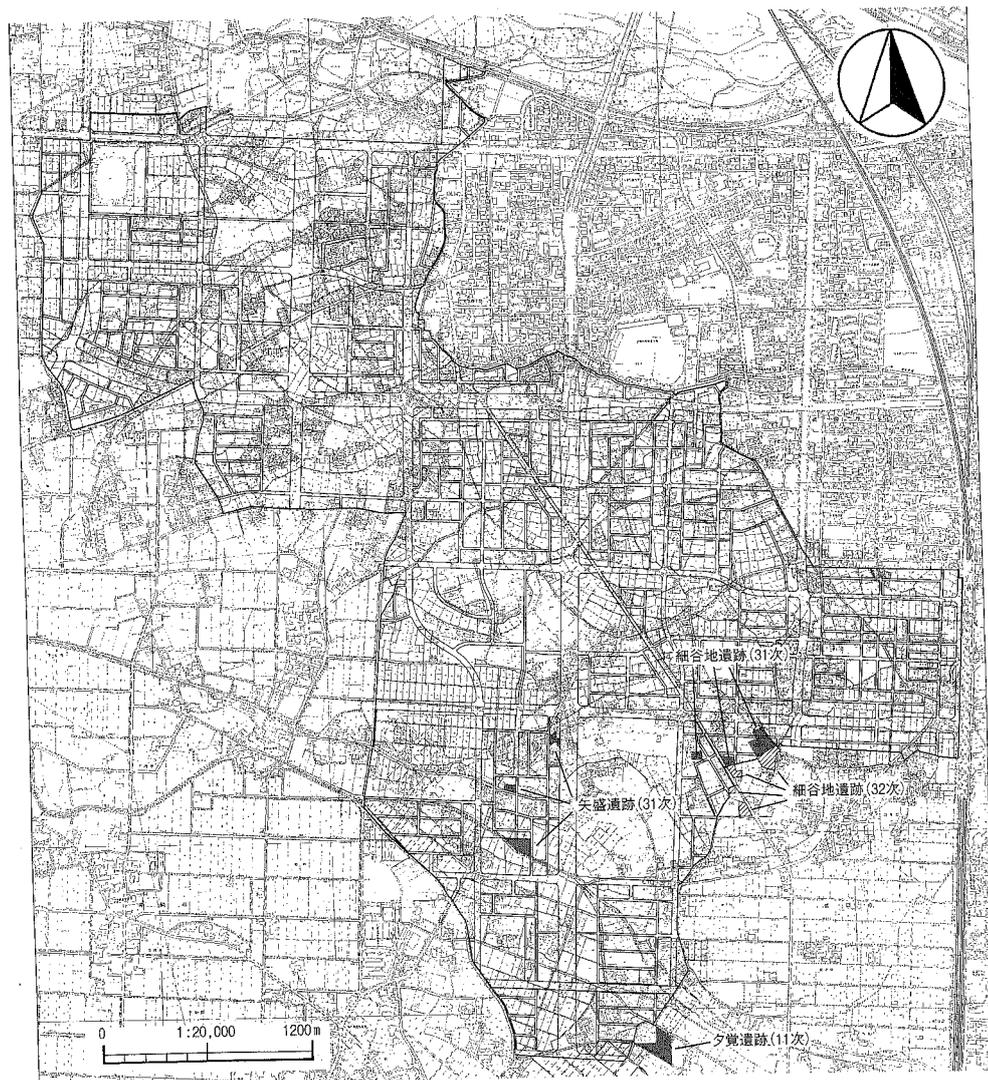
## ○公共事業関連（盛岡南新都市開発整備事業）

### 盛南地区遺跡群 — 細谷地遺跡第31・32次調査、矢盛遺跡第31次調査、夕覚遺跡第11次調査 —

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）等の大規模区画整理事業に伴うもので、平成5年度から今年度の平成24年度まで、20カ年にわたって17遺跡、約868,000㎡を対象として行われてきた。事業区の南東部に隣接する道明地区区画整理事業は現在も継続実施中であり、両事業区に跨った細谷地遺跡は平成26年度まで行われる予定である。

遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地し、段丘の基本層序は基底部が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土で、定まらない雫石川の複雑な河道変遷により、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積し、奈良・平安時代を主体とする古代集落はその微高地上に多く分布する。

細谷地遺跡は事業区内最大の古代集落跡～中世の居館跡の台太郎遺跡の南側に所在する遺跡で、入り組んだ旧河道に面した微高地に奈良・平安時代の竪穴住居跡や竪穴建物跡26棟を検出。第31次調査Ⅰ区からは沖積面では稀な縄文時代晩期前半の竪穴住居跡が1棟検出され、また古代では奈良時代の住居が低位段丘の内側に分布、平安時代では調査区東側の旧河道に接する段丘斜面付近まで住居が分布していた状況が窺われる。



第3図 平成23年度 盛南地区発掘調査位置図



細谷地遺跡 第31・32次調査区全景（東から）



細谷地遺跡 第31・32次調査区全景（西から）

Ⅱ区では調査区中央部を沢が南北に走り、横断する東西方向に3条の溝跡が検出されているが、古代以降の降灰した灰白色火山灰（西暦915年の十和田a火山灰か）の堆積が確認されており、過去の調査事例から道路跡の可能性も示唆される。Ⅲ区からは平安時代の竪穴建物跡、土坑等が検出された。

細谷地遺跡第32次調査Ⅰ区は31次調査区に南隣し、縄文時代晩期前半の深鉢を伴出する貯蔵穴1基、古代では平安時代の竪穴住居跡のかまど煙道内から須恵器片口短頸壺の完形品、土師器・須恵器坏には墨書土器やヘラ描きの刻書土器も出土。また調査区南部から北北東方向に走る溝跡が確認され、北端部は旧河道に注ぎ、埋土上層からは灰白色火山灰、その下部からは須恵器壺の完形品が出土。Ⅱ区は31次調査区から続く沢状地形が南北方向に走り、低地の堆積土からは手づくねのミニチュア土器破片が出土。Ⅲ区では対象地区に5本の試掘トレンチを設定し、現地表面下約0.35～2.0mのややグライ化した地山褐色から黄褐色シルト層上面で、精査を行ったが遺構・遺物は確認されていない。

矢盛遺跡第31次調査は16世紀を主体としたプランが不整五角形を呈する中世居館跡の南側に該当する。過去の調査成果から、区画割や建物跡の配置は真北から東方向に30°振れた北北東の軸方向を呈し、その区画割は近世以降も踏襲されて現代の土地区画にも残されてきたことが判明している。また居館跡西辺を巡る堀跡は、南側の旧堰跡（旧河道）に直交し、その位置関係から旧堰跡は中世期の堀跡を活用したもので、区画された内部には屋敷・倉庫と考えられる掘立柱建物跡が纏まりをもって配置していることが確認された。



細谷地遺跡 第31次調査区全景



細谷地遺跡 第32次調査区全景



矢盛遺跡 第31次調査区全景

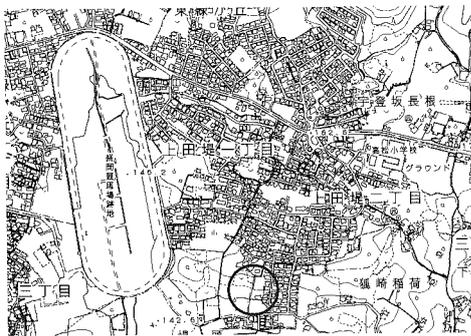


夕覚遺跡 第11次調査 試掘調査状況

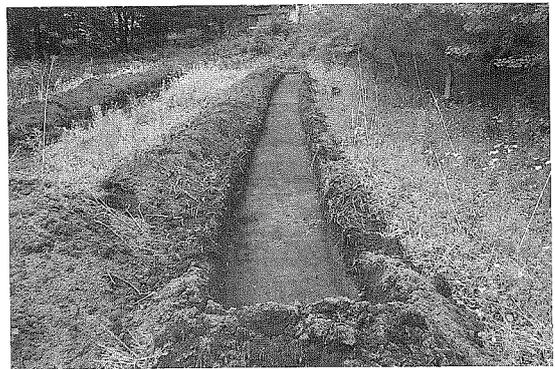
## ○民間開発関連

### (1) 上堤頭遺跡第2次調査

- |        |                    |        |                    |        |       |
|--------|--------------------|--------|--------------------|--------|-------|
| 1 調査地  | 盛岡市上田堤2丁目56        | 2 調査事由 | 宅地造成               | 3 調査方法 | 試掘調査  |
| 4 調査期間 | 平成24年5月29日         | 5 調査面積 | 154 m <sup>2</sup> | 6 調査員  | 佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の陥し穴状遺構5基、土坑3基 |        | 8 出土遺物             | なし     |       |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北部、高松ノ池奥側の四十四田丘陵の頂部から丘陵を開析する沢筋の斜面に立地。調査区は遺跡中央部の南面する傾斜地に位置する。南北方向に6本の試掘トレンチを設定し、精査した結果、調査区中央部から東半部にかけて、現地表面の約0.6~0.7m下部から縄文時代の陥し穴状遺構・土坑を確認。陥し穴状遺構は斜面に沿って4基並列した状態で検出され、丘陵地周辺域が狩猟場であったと考えられる。



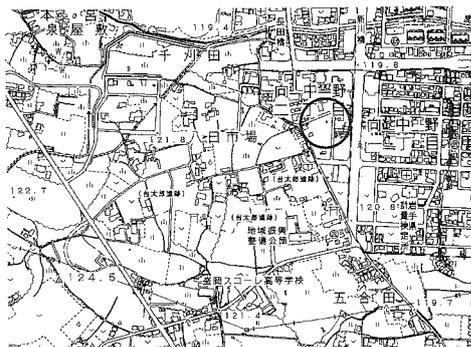
上堤頭遺跡第2次調査区位置図



試掘調査の状況

### (2) 台太郎遺跡第76次調査

- |        |                   |        |            |
|--------|-------------------|--------|------------|
| 1 調査地  | 盛岡市向中野2丁目6-2      | 2 調査事由 | 宅地造成       |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査       | 4 調査期間 | 平成25年3月12日 |
| 5 調査面積 | 177m <sup>2</sup> | 6 調査員  | 佐々木亮二      |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡10棟、溝跡1条  
8 出土遺物 平安時代の土器（土師器・須恵器）  
9 調査概要 遺跡は市街地より南西2kmの向中野地内に所在し、雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地。標高119~123mのほぼ平坦面で、近年調査された大規模区画整理事業並びに民間宅地開発事業で7~10世紀の大規模な古代集落の存在が明らかとなっている。今次の試掘調査は東西800m、南北500mの広大な遺跡の東部で行われ、現地表面下0.7~0.8mから密集した状態で奈良・平安時代の竪穴住居跡群の存在が確認された。※当該地区の本調査は平成25年度に予定。



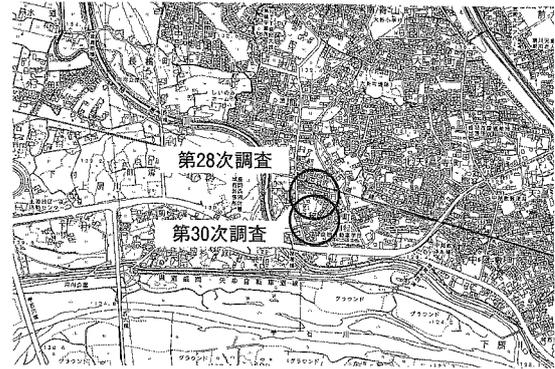
台太郎遺跡第76次調査区位置図



試掘調査の状況

### (3) 稲荷町遺跡第28次調査

- 1 調査地 盛岡市稲荷町14-7、14-10
- 2 調査事由 共同住宅建築
- 3 調査期間 平成24年8月6日～8月7日
- 4 調査面積 197㎡
- 5 調査方法 遺構の確認調査
- 6 調査員 佐々木亮二
- 7 確認遺構 縄文時代の陥し穴状遺構2基、平安～鎌倉時代の溝跡1条、池状遺構1基、土坑1基、柱穴13口
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、雫石川左岸の標高約130mの半円状を呈する自然堤防上に立地。自然堤防全体が中世初頭の居館跡と考えられ、遺跡中央部にJR田沢湖線が東西方向に走り、調査区は線路の南側に隣接。今次調査区はほぼ遺跡中央部に位置し、現地表面下約0.9～1.2mで遺構検出を行った結果、縄文時代の陥し穴状遺構をはじめ、西半部では南北方向の溝跡や柱穴群、東半部からは溝を伴う池状遺構及び土坑を確認した（遺構・遺物は盛土保存措置）。



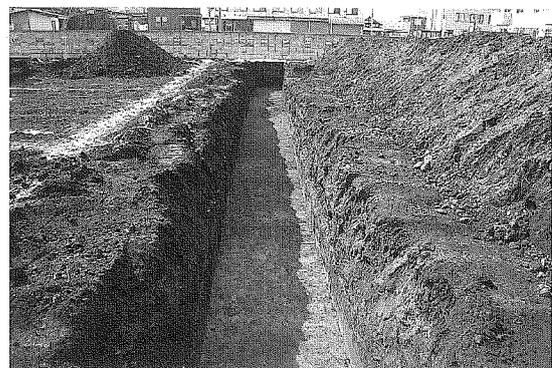
稲荷町遺跡28・30次試掘調査区位置図

### (4) 稲荷町遺跡第30次調査

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1 調査地 盛岡市稲荷町16-8の一部      | 2 調査事由 共同住宅建築      |
| 3 調査期間 平成25年3月11日        | 4 調査方法 トレンチによる試掘調査 |
| 5 調査面積 137㎡              | 6 調査員 花井 正香        |
| 7 検出遺構 中世の柱穴6口、時期不詳の溝跡1条 | 8 出土遺物 なし          |
- 9 調査概要 今次調査区は、28次調査区の南東部に隣接し、標高約130mの住宅地に所在。過去の調査では隣接地で縄文時代の土坑や平安末～鎌倉初期の掘立柱建物跡などが検出されている。
- 試掘は計画予定地内に3本のトレンチを設定し、盛土で嵩上げされた現地表面より約1.2～1.6m下部のスコリア粒を含む暗褐色土層上面で遺構確認の精査を行った。遺構は中央部から北半部にかけて散発的ではあるが柱穴や溝跡が確認され、掘立柱建物跡や柱列跡を構成する一部と考えられる。



稲荷町遺跡 第28次試掘調査状況



稲荷町遺跡 第30次試掘調査状況

(5) 松内館遺跡第1次調査

- |        |                   |        |                    |
|--------|-------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市玉山区松内字築場26-8ほか | 2 調査事由 | 送電線鉄塔建設            |
| 3 調査方法 | 試掘調査              | 4 調査期間 | 平成24年10月24日～10月25日 |
| 5 調査面積 | 19㎡               | 6 調査員  | 佐々木亮二              |
| 7 検出遺構 | 中世城館跡の平場を確認       | 8 出土遺物 | なし                 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北方21km、八幡平市大更に隣接する玉山区松内字築場地内に所在。北上川の支流となる赤川と蛇行しながら南流する松川との合流点の下流右岸の標高約290mの舌状の丘陵上に立地。頂部への送電線と鉄塔建設に伴い、計画地域周辺を伐採し、ベース部分3カ所にトレンチを設定し精査。

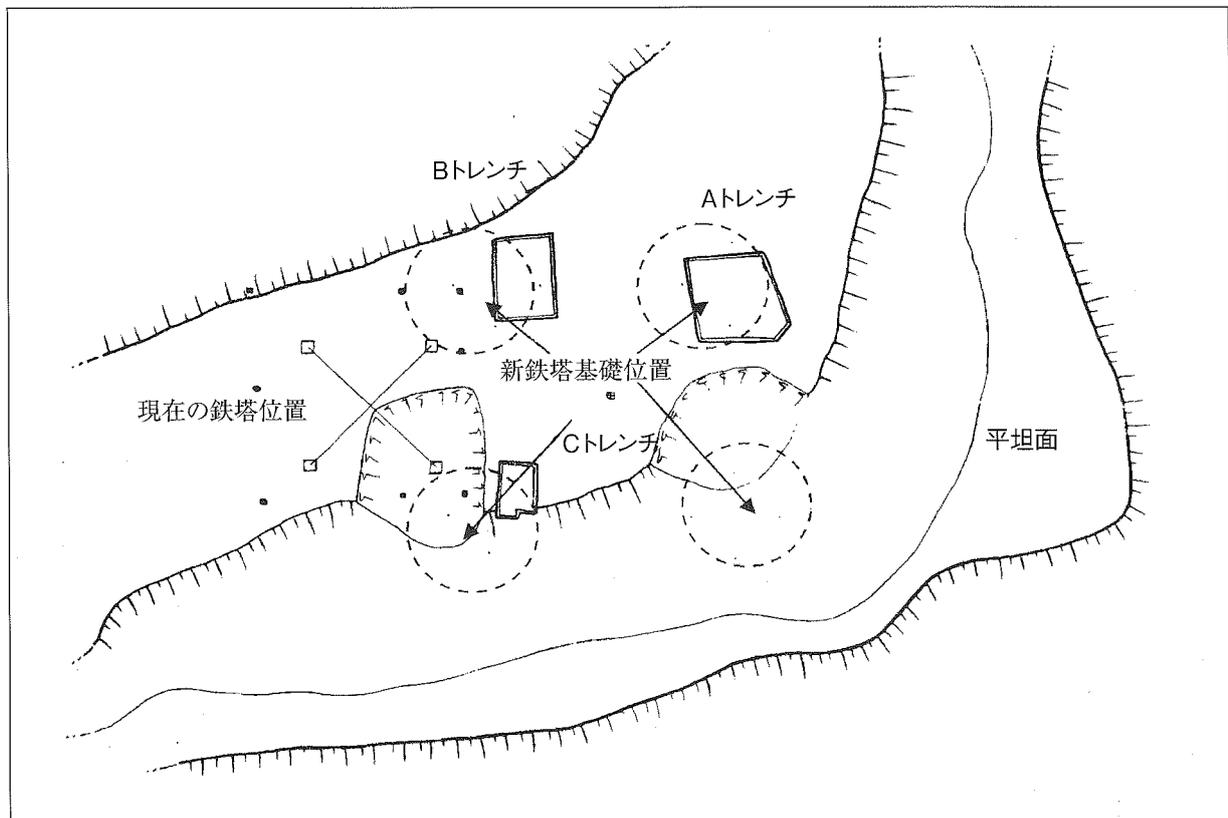
最小限の調査面積であったため、調査区内での遺構・遺物は検出されなかったが、中世城館の平場部分について一部地形測量を行った。



松内館遺跡第1次調査区位置図



試掘調査の状況

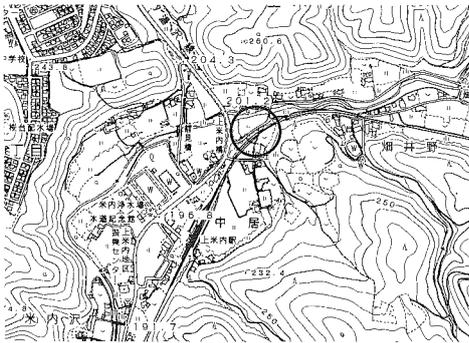


松内館遺跡第1次調査区全体図

## (6) 上米内遺跡第6次調査

- |        |                                                                                                                           |        |             |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市上米内字中居43-4                                                                                                             | 2 調査事由 | 携帯電話基地局建設   |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査                                                                                                               | 4 調査期間 | 平成24年12月12日 |
| 5 調査面積 | 49㎡                                                                                                                       | 6 調査員  | 佐々木亮二       |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の焼土遺構4基                                                                                                               | 8 出土遺物 | なし          |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地より北東方向6kmの米内川沿いの河岸段丘上に立地。JR山田線と米内川に挟まれた低位の段丘は水田として利用されているが、過去の調査例から、縄文時代中期～晩期の集落跡の存在が考えられ、また中世城館の畑井野遺跡も隣接する位置関係にある。 |        |             |

調査区は7m×7mの範囲で実施され、水田床土直下で4カ所の焼土遺構を検出したが、そのほか遺構・遺物は確認されていない。



上米内遺跡第6次調査区位置図

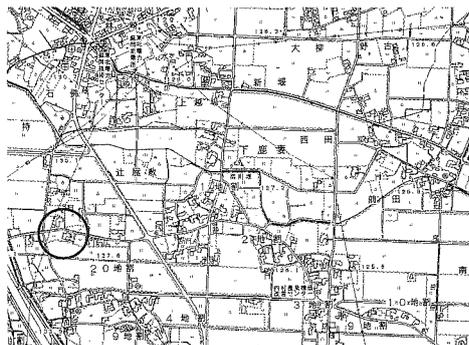


試掘調査の状況

## ○個人住宅建築等

### (1) 辻屋敷第2次調査

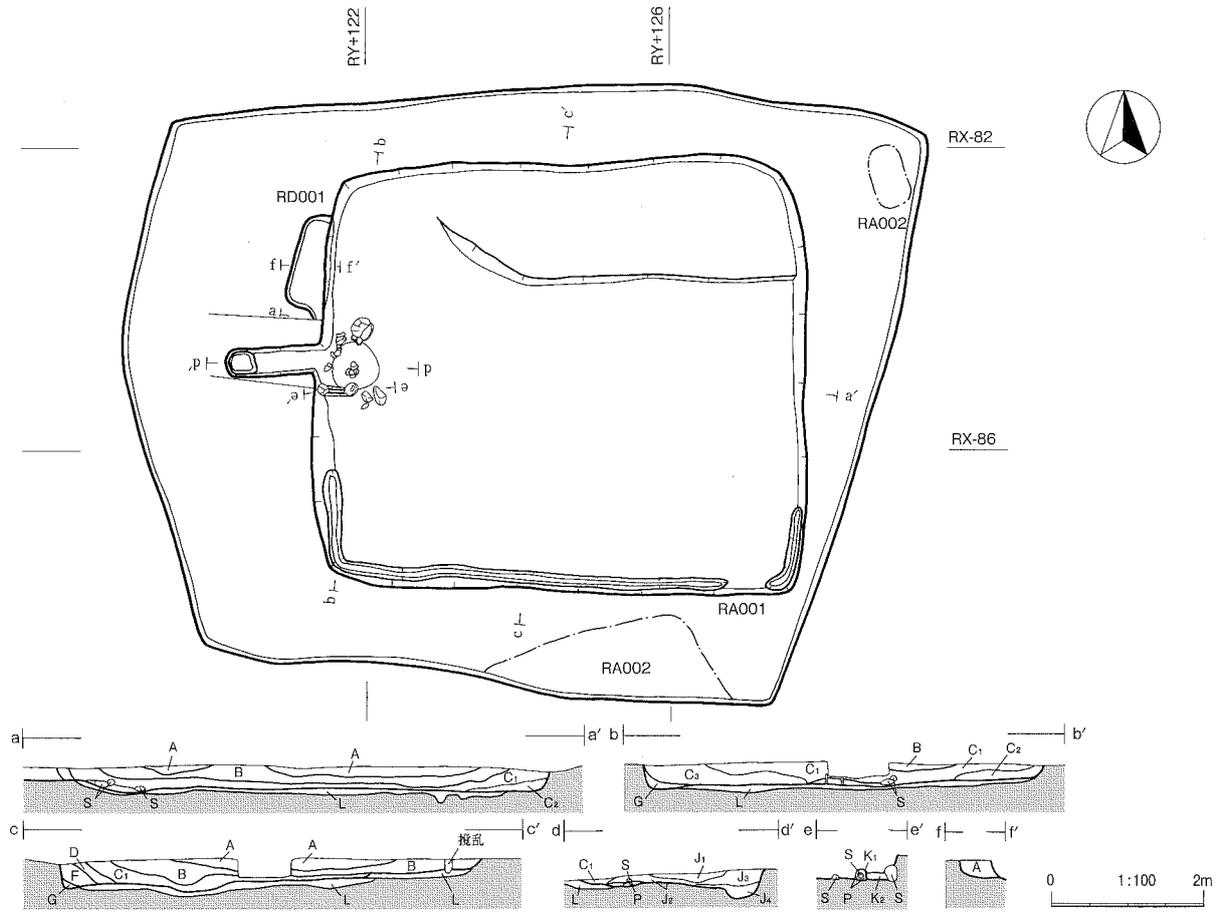
- |        |                                                                                                                                                                                                      |        |                 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市下鹿妻字長持104-8、104-33                                                                                                                                                                                | 2 調査事由 | 個人住宅建築          |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査～本調査                                                                                                                                                                                      | 4 調査期間 | 平成24年4月9日～4月13日 |
| 5 調査面積 | 72㎡                                                                                                                                                                                                  | 6 調査員  | 佐々木亮二・三品花菜子     |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴住居跡1棟                                                                                                                                                                                         |        |                 |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土器（土師器・須恵器）                                                                                                                                                                                     |        |                 |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地から南西部へ5kmの沖積段丘に位置し、今回の調査区は平安時代初期の城柵志波城外郭南門跡から南方800mの距離にある。住宅建築に伴う調査で平安時代の竪穴住居跡が2棟、土坑2基が確認され、そのうち1棟の住居跡について本調査を行い、他は盛土保存措置を講じた。竪穴住居跡は1辺6mの方形プランで西辺中央部に煙道をもつかまどが設置されており、周辺から土師器・須恵器の坏・甕類が出土している。 |        |                 |



辻屋敷遺跡第2次調査区位置図



遺構の検出状況



辻屋敷遺跡第2次調査区全体図

(2) 上畑遺跡第10次調査

- 1 調査地 盛岡市西見前第11地割161-7
  - 2 調査事由 個人住宅建築
  - 3 調査方法 トレンチによる試掘確認調査
  - 4 調査期間 平成24年5月7日
  - 5 調査面積 49㎡
  - 6 調査員 佐々木亮二
  - 7 確認遺構 平安時代の竪穴住居跡1棟、焼土遺構1基、土坑1基
  - 8 出土遺物 平安時代の土器（土師器・須恵器）
  - 9 調査概要 遺跡は市街地の南部、南流する北上川右岸の砂礫段丘上に位置し、調査区は遺跡東側の地形が低くなる地点にあり、調査区南東部地表面から約60cm下部から1辺3mの平安時代の竪穴住居跡、焼土遺構・土坑が確認された。※遺構保存措置
- 第10次調査 第11次調査



上畑遺跡第10・11次調査区位置図

(3) 上畑遺跡第11次調査

- |                                     |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1 調査地 盛岡市西見前第11地割208-1、208-4        | 2 調査事由 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 トレンチによる試掘確認調査                | 4 調査期間 平成24年12月10日 |
| 5 調査面積 20㎡                          | 6 調査員 花井 正香        |
| 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡2棟、時期不詳の土坑2基、ピット3口 |                    |
| 8 出土遺物 平安時代の土器（土師器・須恵器・あかやき土器）      |                    |

9 調査概要 第10次調査区の北側で同様の河岸段丘上位置し、標高は約110mを測り、平成14年度に今次調査区南部で、平安時代の竪穴住居跡を主体とする集落跡が確認されている。建築予定地内に2本の試掘トレンチを設定し、遺構の有無確認調査を実施。その結果、調査区東部は低地にさしかかり、検出面はやや異なるも、現地表面からおよそ0.8~0.9mの深さのややグライ化した褐色シルト層上面で平安時代の竪穴住居跡等を検出。同時期の土師器・須恵器及びあかやき土器破片も多数出土した。  
※その後の協議により、遺構は保存措置が講じられ、埋め戻されている。



上畑遺跡第10次調査区全景



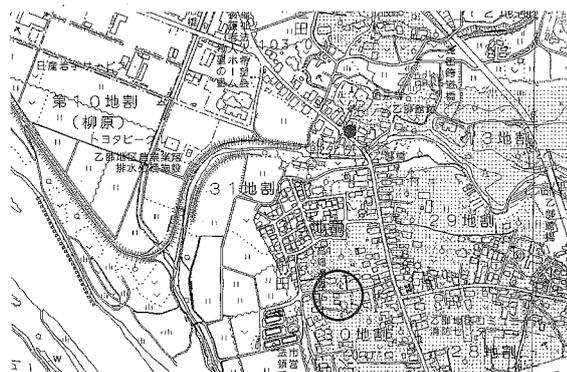
上畑遺跡第11次調査 試掘調査状況

#### (6) 町田遺跡第19次調査

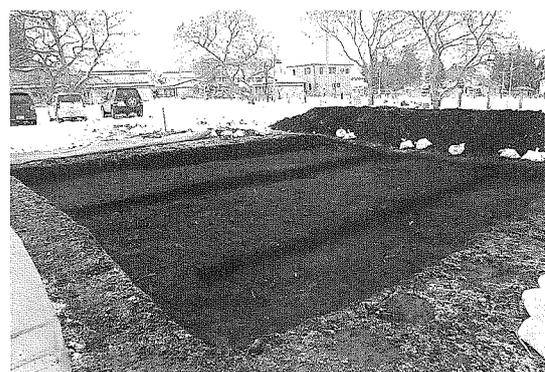
- |        |                                                                                                                |        |             |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市乙部第30地割51-1                                                                                                 | 2 調査事由 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | 試掘調査                                                                                                           | 4 調査期間 | 平成24年11月28日 |
| 5 調査面積 | 20㎡                                                                                                            | 6 調査員  | 佐々木亮二       |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴住居跡 3 棟                                                                                                 |        |             |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土器 (土師器・須恵器)                                                                                              |        |             |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地より南東方向11km、南流する北上川左岸の河岸段丘上に立地し、推定遺跡範囲のほぼ中央部に位置する。周辺の標高は113~115m程で、かつては果樹園・畑地などに利用されていたが、近年は急激に宅地化が進んでいる。 |        |             |

調査は住宅建築予定地内に東西方向3本の試掘トレンチを設定し、トレンチ内の東半部、現地表面下0.4~0.5mで平安時代の竪穴住居跡3棟の存在を確認し、同時代の土器である土師器・須恵器の破片が採集された。これまでの過去の調査から町田遺跡は河岸段丘に広がる平安時代の集落跡であることが判明しており、当該調査区も同時期に相当するものと考えられる。

※試掘調査後、調査区は一旦埋め戻され、平成25年度に本調査が予定されている。



町田遺跡第18次調査区位置図



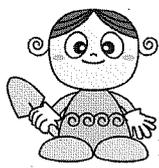
試掘調査の状況

# 報告書抄録

ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん へいせい24ねんど かんぽう							
書名	盛岡市遺跡の学び館 平成24年度 館報							
編著者名	千田和文 室野秀文 津嶋知弘 神原雄一郎 花井正香 佐々木亮二 佐々木紀子 三品花菜子							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL 019-635-6600							
発行年月日	2014年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	(世界測地系)				
しわじょうあと 志波城跡(107次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 なかおとなほうちよう 中太田法丁1-3,2,3-1,3-2	3201		39° 41' 18"	141° 06' 44"	2012.10.24~12.7	500	史跡保存整備 に係る内容確 認調査
はぼせん 幅Ⅲ遺跡(1次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 つるがみあざ 土淵字幅26-1			39° 42' 37"	141° 05' 38"	2013.3.4	592	学校体育館建設
せいのなんちく 盛南地区遺跡群 (3遺跡4地点)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 なかにの字 向中野字細谷地40-5ほか			39° 40' 53"	141° 08' 18"	2012.5.1~12.26	13,346	公共大規模区 画整理
かみつづみがしら 上堤頭遺跡(2次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 うみつづみあざ 上田堤2丁目56			39° 43' 31"	141° 09' 10"	2012.5.29	154	宅地造成
だいたろう 台太郎遺跡(76次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 なかにの字 向中野2丁目6-2			39° 40' 57"	141° 08' 25"	2013.3.12	177	宅地造成
いなりちよう 稲荷町遺跡 (28・30次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 いなりちよう (28次)稲荷町14-7,14-10 (30次)稲荷町16-8の一部			39° 42' 26"	141° 06' 49"	(28次) 2012.8.6~8.7 (30次) 2013.3.11	(28次) 197 (30次) 137	共同住宅建築
まつないだて 松内館遺跡(1次)	いわてけんもりおかしたまやまく 岩手県盛岡市玉山区 まつないあざなほ 松内字築場26-8ほか			39° 53' 38"	141° 09' 12"	2012.10.24 ~10.25	19	送電線鉄塔建設
かみやない 上米内遺跡(6次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 かみやないあざなかい 上米内字中居43-4			39° 44' 32"	141° 12' 30"	2012.12.12	49	携帯電話基地 局建設
つじやしき 辻屋敷遺跡(2次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しもづまあざなかも 下鹿妻字長持104-8,104-33			39° 40' 21"	141° 06' 46"	2012.4.9~4.13	72	個人住宅建築
うわばたけ 上畑遺跡(10・11次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (10次)西見前第11地割161-7 (11次)西見前第11地割208-1,208-4			39° 38' 08"	141° 10' 15"	(10次) 2012.5.7 (11次) 2012.12.10	(10次) 49 (11次) 20	個人住宅建築
まちだ 町田遺跡(19次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 おとべの字 乙部第30地割51-1		39° 36' 52"	141° 11' 59"	2012.11.28	20	個人住宅建築	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
しわじょうあと 志波城跡(107次)	城柵跡	平安時代		外郭西辺築地線、築地外大溝跡、土塁跡		平安時代の須恵器坏、大甕破片、明治以降の瀬戸美濃染付皿、ビール瓶(サクラビール)ほか		学術調査
はぼせん 幅Ⅲ遺跡(1次)	集落遺跡	縄文時代、奈良・平安時代		遺構なし		縄文時代の土器破片38点		試掘調査
せいのなんちく 盛南地区遺跡群 (3遺跡4地点)	集落遺跡・ 城館跡	奈良・平安時代、中世・ 近世		縄文時代の古代の堅穴住居跡、堅穴建物跡、土坑、柱列跡、溝跡、 古代末~中世の堀跡、		縄文時代の土師器・須恵器・あかやき土器、鉄製品・石製品、 近世の陶磁器、銅銭ほか		平成5年度から の継続調査
かみつづみがしら 上堤頭遺跡(2次)	集落遺跡	縄文時代、平安時代		縄文時代の陥し穴状遺構、 土坑		出土遺物なし		試掘調査
だいたろう 台太郎遺跡(76次)	集落遺跡	奈良・平安時代、中世		平安時代の堅穴住居跡、溝跡		平安時代の須恵器・土師器		試掘調査
いなりちよう 稲荷町遺跡(28次)	城柵跡	縄文時代、平安時代・中世		縄文時代の陥し穴状遺構、 平安~鎌倉時代の溝跡、池 状遺構、土坑、柱穴など		出土遺物なし		(28次)遺構確認 調査 (30次)試掘調査
いなりちよう 稲荷町遺跡(30次)								
まつないだて 松内館遺跡(1次)	城館跡	中世		中世城館の平場確認		出土遺物なし		試掘調査
かみやない 上米内遺跡(13次)	集落遺跡	縄文時代		縄文時代の焼土遺構		出土遺物なし		試掘調査
つじやしき 辻屋敷遺跡(2次)	集落遺跡	平安時代		平安時代の堅穴住居跡		平安時代の須恵器・土師器		試掘~本調査
うわばたけ 上畑遺跡(10次)	集落遺跡	奈良・平安時代		平安時代の堅穴住居跡、焼 土遺構、土坑、ピット		平安時代の須恵器・土師器・ あかやき土器		遺構確認調査
うわばたけ 上畑遺跡(11次)								
まちだ 町田遺跡(19次)	集落遺跡	縄文時代、奈良・平安時代		平安時代の堅穴住居跡		平安時代の須恵器・土師器		試掘調査

**盛岡市遺跡の学び館 平成24年度 館報**  
 2014年3月31日 発行

発行/盛岡市遺跡の学び館  
 〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号  
 電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605  
 E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp  
 URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html>  
 印刷/株式会社 社陵印刷



盛岡市 **遺跡の学び館**